地域共生社会を支えるソーシャルワーク

定員
70名/日
参加料
5000円

アメリカで約20年の実績を元に提案

介護・福祉・医療の現場で働くソーシャルワーカーの

プロフェッショナルな働き方

厚生労働省が『地域共生社会』実現のための改革を提案しています。これからの日本の医療や福祉のニーズの増大に対応するために国は、医療、介護、予防、生活支援サービスが全世代で『新しい地域包括支援体制』の確立を目指しています。この現状を踏まえてソーシャルワーカーは主体的に行動を起こし専門性を高めることが早急に求められています。

日本においてソーシャルワーカーは、共に助け合いながらソーシャルワークのグローバル定義にあるように『社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する』使命があると考えます。ソーシャルワークの中核となる『社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重』による専門職としての責任を果たせるような能力を開化して欲しいという思いから当企画を立案しました。

セミナーでは、自分自身のソーシャルワーカーの実践経験とハワイ大学とユニベール財団との共同プログラム『ハワイソーシャルワークセミナー』に15年間メンターとして、日本でソーシャルワークを学ぶ学生たちと関わってきました。そして彼らがそれぞれ現場に飛び出してから苦悩を経験する日本のソーシャルワークの課題に気付かされました。そのような状況を踏まえた上で、医療や福祉(介護)に従事するソーシャルワーカーが『地域共生社会』の実現に向けて、プロフェッショナルとしての意識を持った『プロフェッショナルな働き方』の可能性を提案します。



こびらひろこ
小平裕子



日程: 10月9日（火）・10日（水）・11日（木）
午後6時30分〜8時（開場6時）

会場: UDX CONFERENCE カンファレンス（最寄駅: JR秋葉原駅）

＜プログラム＞　各45分ずつ
第1部　ソーシャルワーカーの『プロフェッショナルな働き方』
第2部　ソーシャルワークの実践事例を解説しながらスーパーバイズライブ

主催：Kobira Healthcare Hawaii LLC（代表：小平裕子）　お問い合わせ hirokoj@kobirahealthcare.co

- アメリカ合衆国ハワイ州で約20年間の臨床の現場経験を持つ日本人ソーシャルワーカー。専門分野は高齢者と障害者の地域における自立生活を支援するアドボケイト、ケアマネージメント、そして、サービスコーデイネート。
- 1995年ハワイ州ブリガムヤング大学に入学。1999年ソーシャルワーク学士を修了。1999年より2007年まで『Hawaii Center for Independent Living』でシニア自立生活スペシャリストとして障害者の自立生活の権利擁護の任務を果たす。2007年にハワイ大学マノア校よりソー シャルワーク修士課程を修了。その後2018年2月までアメリカ合衆国で株式市場 一部上場保険会社『Unitedhealthcare, Hawaii』で、ソーシャ ルワーカークリニカル コーディネーターとして勤務。
- 現在『Kobira Healthcare Hawaii LLC』を設立し、プロフェッショナルな働き方改革事業『Social Workers Empowerment Network』に取り組み、日本のソーシャルワーカー対象に実践的トレーニングプログラムを企画、運営を推進。

参加のお申し込みは、https://kobirahealthcare.coから、Event-Registrationをクリックしてください